



国際ロータリー2620地区

長泉ロータリークラブ

週報

【2024-2025年度】



発行／会長：川瀬 一隆 幹事：望月 義明

例会／毎週水曜日 12:30～13:30

例会場／財米山記念館ホール

事務局／〒411-0941

静岡県駿東郡長泉町上土狩346-1

TEL・FAX: (055) 988 - 3070

E-mail:n-jimu@nagaizumi.com

<https://www.nagaizumi.com/>

長泉ロータリークラブ 会長あいさつ

会長 川瀬 一隆 KAZUTAKA KAWASE

【クラブ40周年事業への想い】

いよいよ来週末には、本年度二つ目の大きな事業でもありますクラブ40周年記念式典の開催と祝賀会となりました。2月に開催されたインターナショナルミーティングから約3か月の準備期間はありました、それぞれの会社の年度末や、新年度のスタートなど、5月の連休とあつという間に時は過ぎ、開催に向けて準備に多くの時間を取りたいところではありました、本日は残り1週間となりますので、役割分担を御確認していただき、運営で問題が発生しないようにお願い致します。

あらためてではありますが、今回のテーマについて補足させていただきます。

「次世代の子どもたちに残せるものは！」このテーマを掲げました。長泉ロータリークラブが、5年後、10年後、もつと先まで クラブとして次世代に残していくものの、託していきたいものの、何かを探していくかなければなりません。他の団体活動では、活動内容に制約があることや、年度の決められた事業をこなさなければならないことなど、発想に幾つかの制約されてしまうこともあるかと思いますが、ロータリークラブは、この点については、自由に、年度にとらわれず、考えていける場所ではないかと、私は思っています。

40周年を迎える、この長い年月の中では、米山梅吉翁についての紹介をそれぞれの周年事業を通じて行ってきましたが、その成果は、35歳以降の町内出身の多くの方に、郷土の誇りである梅吉翁を周知していくことができ、4月には、小学校、中学校では「梅吉デイ」と称して奉仕活動を行うことにつながり、長年にわたり周知活動の結果となつたと思います。

50周年に向けて、世の中は混沌とした中でも新しい時代に移ろうとしています。ロータリークラブが何をしたいかではなく、世の中が何を求めているか、目線を下げて取り組んでいかないと、自己満足の活動になってしまいます。何でも自由に意見交換できる長泉クラブですので、10年後に向けてのより良い考え方と発想で、柔軟に取り組んで行きたいと思います。



財団法人 米山記念館と竜舌蘭

第1864回 例会 2025.5.7 wed
内容:40周年記念式典について

【幹事報告】

幹事
望月 義明

YOSHIAKI
MOCHIZUKI

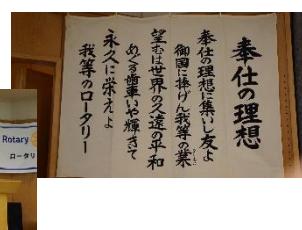
RIから・ロータリーの友(5月号)が届いています。
(配布)



出席報告

会員総数	出席計算に用いた会員数	出席	出席率
20名	20名	15名	85.00%

出席免除会員欠 0名 MU 2名



(ビジター)
長泉RC名譽会員
三枝 徳造 様

(ゲスト)
プルデンシャル生命保険
海瀬 晴紀 様

